様式第１－１号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　年　　月　　日

公益財団法人　北九州産業学術推進機構

理事長　松永　守央　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　（申請者）

【提案者（代表）】

所在地

企業・団体名

代表者（役職・氏名）

コンソーシアム名（※１）

連絡担当者

E-MAIL

電話番号

※１　提案事業をコンソーシアムで行う場合に記述

事業計画書兼交付申請書

　北九州産業学術推進機構　ＤＸ推進補助金（計画策定枠）の交付を受けたいので、次のとおり補助事業計画を提出（事業にかかる経費、補助金交付申請額等は別途申請フォームで申請）します。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 事業概要 |  |
| 現時点での自社認識（計画策定前の分析） | 目指す姿や目標 | ※目指す姿や事業目標、組織体制、売上等の数値目標など、現時点で認識している自社の将来像を記載してください。 |
| 実現に向けての分析と課題 | ※前項で記載した将来像を実現するために、どのようなことが課題となっているか、現時点で認識している自社の課題を記載してください。 |
| デジタル活用による課題解決の妥当性 | ※前項で記載した課題を解決するためにはなぜデジタル活用が適していると考えたのか、（他の手段でなくデジタル活用である理由）を記載してください。 |
|  |  |  |
| 策定する計画の概要 | 計画に盛り込む経営方針等 | ※今回策定する計画は、どのような企業理念・ビジョンに基づいた計画（成長戦略）としたいのかを記載してください。また、デジタル活用の全体像・ロードマップ等を現時点で想定している範囲で記載してください。 |
| 計画を策定する上での具体的作業（想定） | ※今回計画を策定するうえで、どのようなことを実施するのかを記載してください。（例：～～～～を分析し、目指す姿を達成するための道筋を明確にするために実施するコンサルティング費用）（例：現在想定する～～～～の生産性向上策が適正か検証作業を実施する費用と、導入に向けたロードマップの検討費用） |
| 計画策定に向けた推進体制 | 推進体制と経営者の関与 | ※経営者（役員含む）がＤＸ計画策定又はＤＸ推進にあたり、どう関与していくのかを具体的に記載してください。 |
| 関係部署の関与と意識共有の方策 | ※関係部署がＤＸ計画策定又はＤＸ推進にどう関与していくのか、意識共有を図る方策と合わせて記載してください。 |

* 書ききれない場合は、複数の用紙に記載すること。
* 適宜、図や表を用いてわかりすく記載すること。

【審査基準】

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 審　査　基　準 |
| 現時点での自社認識（計画策定前の分析） | 将来の姿について意欲的かつ詳細なビジョンを持っているか |
| 自社の置かれた状況や特徴を踏まえ、適切な問題意識をもっているか |
| 課題解決のアプローチとしてデジタル活用は適切か目指す姿に近づくためのデジタル活用となっているか |
| 策定する計画の概要 | 策定する計画は、将来像を実現するために妥当なものを想定しているか |
| 実施する作業は妥当・適切か |
| 計画策定に向けた推進体制 | 誰が何をどのように進めるか、経営者がどう関与するか、リーダーシップが感じられるか |
| 関係部署と十分な連携を取れる体制となっているか計画を一丸となって進めるための意識共有を企図しているか |

コンソーシアム構成員（コンソーシアムの場合のみ記載）

|  |
| --- |
| コンソーシアム構成員（コンソーシアムの場合のみ、コンソーシアム構成員を記載） |
| 企業名（本店都道府県・市町村） | 代表者 役職・氏名 | 本件での役割と適性根拠 |
| 本件担当者 役職・氏名 |
|  |  |  |
|  |
|  |  |  |
|  |